



Discover a New World of Service

見つけよう 奉仕の新生面



会長 川村徳男 幹事 迎田 稔 クラブ奉仕 山口篤之助 職業奉仕 佐藤 忠 社会奉仕 吉野 勲 国際奉仕 新穂光一郎 青少年奉仕 藤川享庸

出席報告：会員 73 名 出席 58 名 出席率 79.45% 前回出席率 73.97% 修正出席 62 名 確定出席率 84.93%

四つのテスト

- ① 真実かどうか？
- ② 好意と友情を深めるか？
- ③ みんなに公平か？
- ④ みんなのためになるかどうか？

職業奉仕 四つの反省

1. 顧客に対して：
 - 最上の品質、最高のサービスを提供しているか
 - 常に正直と親切を旨としているか
2. 従業員に対して：
 - 彼等の長所を充分に認めつつしているか
 - 安全で快適な職場を確保しているか
 - 苦情に対して公正な態度で対処しているか
 - 自ら誠実、正直、善意の手本を示しているか
3. 競争者に対して：
 - 公正な態度で接しているか
 - あなたは、行動をもって誠実を感銘させているか
 - 彼等とともに事業水準の高揚につとめているか
4. 協力者に対して：
 - 公平でしかも友情にみちた関係を保っているか
 - いつも支払をよくしているか

会長報告

川村徳男君

1. 定例理事会の報告

- (1) 年度当初に活動計画の中でお話したように来年3月が台中港区R.C.との盟約10周年に当たります。今年は、3回目の統盟式と当クラブの25周年記念式典に先方から来ていただいたので、こんどは答礼をかねてこちらから訪問するという事で先方の意向を打診する。時期は、2月9日に地区のI.C.M.があるので、これを外した2月中にしたい。
- (2) 現在の職業分類表が複雑すぎるので簡素化するということで市川委員長から改正案が示され、同意がありました。皆さんには後日説明があります。
- (3) 斎藤ガバナーから書簡があったメキシコ第417

地区のクラブとの文通については、手紙に観光パンフレットを添えて出そうということに決定しました。

- (4) 同じく斎藤ガバナーの書簡ですが、歴史的な町名の保存については、新しく制定になった町名を旧に復することは至難のことと思いますが、古い町名をプレートに記して各町々に掲示することは、既に三中の生徒さんが始めているし、青年会議所の今年の計画にもあると聞いているので、当分これらを見守ることにしました。
 - (5) 新入会員の推せんについて、1名の推せん辞退があり、諒承されました。
2. 去る31日に、青少年のなやみごと相談—教育110番のカウンセラーをお願いしている外部の方々とクラブ会員の第一回打合せ、懇談を行ないました。カウンセラーの諸先生も電話による相談は初

庄内空港の建設を推進しましょう

めてのようでしたが、活発な、前向きのご意見、ご質問がありました。最初は皆さんが不安を感じておられましたが、経験をもっておられる佐々木会員の明解な説明で、最後には自信をもたれた様子でしたし、却って先生方から積極的な御協力とはげましの言葉を頂き、ホッとしました。大事業だけに有難いことです。

また、マスコミの方も、これまで連絡のついたところは大きな関心をもってくれましたし、全面的に協力をするということで心強い限りです。近日に記者クラブに出向いて説明し、他社の方にもお願いするつもりです。

3. 次の例会までの行事

(1) ロータリー行事

6日は田川地区高校、中学校の英語弁論大会が9時から第3学区コミュニティーセンターで行なわれますが、祝辞と賞状を依頼されています。

8日9日の両日は、253地区ローターアクト第11回年次大会が福島南R.C.のホストで飯坂で行なわれます。

9日は黒川能鑑賞家族会です。9時、産業会

館前出発ですから遅れないようにして下さい。今のところ申込みが43名で、ご協力ありがとうございました。

11日の第2回クラブ協議会は、理事の方から概要を説明していただき、必要に応じて特定委員長から補充的に詳細を説明していただきます。

(2) 一般の行事

9月9日は重陽ですが、中国では奇数がよろこばれ、重陽節は特に良い日としているようです。

9月10日は旧の8月15日、十五夜です。これからは日益しに寒くなりますので、皆さん健康に留意して下さい。

幹事報告

迎田稔君

1. 国際ロータリー認証状伝達式

帯広東ロータリークラブ

1. 日本の松の緑を守る会

募金要請

1. 国際ニュース8月号 回覧

会員スピーチ

今後の電気通信事業の動向について

佐藤英明君



今後の電気通信事業の動向は、世界的に共通の流れでございますが、2つの潮流があると考えられます。

1つの流れは、通信のシステムをデジタルのネットワークに統合していこうという流れであります。もう

1つの流れは、電気通信の事業体に関する流れであります。運営主体を民営化・競争化させようという流れであります。

通信設備(ネットワーク)のデジタル化については、電電公社もINS(Information Network System-高度情報通信システム)の構築に向けて

鋭意準備を進めているところでございますが、このINSとは現在、別々に構成されている電話・ファクシミリ・コンピュータなどのネットワークを1本化し、回線の共有化・効率化を図ることにより、経済的な料金で電話機はもちろんのこと、ファクシミリ・データ機器・映像機器など多様な情報機器を、自由に選んで1本の電話線に接続して使えるシステムのことです。世界的にもISDN(Integrated Services Digital Network)と称して進められておりますが、電電公社のINSは、これに加えて、今までの距離と時間に基づいた料金体系に変わって情報量をベースとした新しい料金体系をも包含したより広い概念と考えてよろしいかと思えます。

INSは、通信方式としてのデジタル通信、通信

回線としての光ファイバ・通信衛星・ハードウェアの高速化・高精度化・多容量化のための超LSIといった技術の著しい発展によるところが大なわけですが、このうち光ファイバについては、当庄内地区においても、山形～鶴岡～酒田ルートが昭和60年度完成を目指して着工されております。(光ファイバケーブルを供覧)また、今年度中には、親展通信等多彩なサービスが安く便利に利用できるファクシミリ通信網サービスも導入されますので、ぜひご利用いただきたいと思ひます。

どんなに便利だと思われるシステムができて、それをお使いいただくのはお客さまです。INSについても、この9月28日から東京三鷹地域を中心にモデル・システムを実施するなどして、皆さまがたのご意見をお聞きしながら、自由に経済的にお使いいただける安くて便利な設備(ネットワーク)を提供していきたくて考えております。

一方、もう1つの流れであります電気通信事業体の改革については、改革法案が衆院を通過し、次期国会冒頭で参院も可決成立する運びとマスコミが伝えております。これらの法案が成立・制定されれば、昭和60年4月1日から、新しい電気通信事業法により、電気通信事業者は、電電公社のように自前の回線設備をもって事業を行う第1種電気通信事業者と

第1種電気通信事業者から回線を借りて、それに付加価値をつけるなどにより営業する第2種電気通信事業者とに分かれますし、また日本電気電話株式会社法により、私ども電電公社も皆さまと同じ商法・税法の世界に生きることになるわけです。

したがって、今後は、株式会社としてより機動的・弾力的な事業運営を行いサービスの向上に努力しなければなりませんし、そのためにも、一事業者としてサービスの向上を前提に、一層適正かつ効率的な経営を行い、引続き健全な財務基盤を確保することが大切であると考えている次第です。(一事業体としてみれば、残念ながら鶴岡電報電話局は赤字経営であります。)

競争の萌芽は、端末機器分野において、すでにこの鶴岡地域に現われておまして、民間業者の方のビジネスホン(ボタン電話)をはじめとする各種電話機の売り込み功勢は凄まじいものがあります。しかしながら、私どもの電話機は信頼性・経済性・保全性等あらゆる面でご満足いただけるものと確信しておりますので、ぜひ引続きご愛顧下さるようお願いいたします。

今後、ますますの御指導・御鞭撻をお願いいたしましてスピーチといたします。

親睦活動委員会

会員誕生 今村 哲君・小池 繁治君
加藤 賢君・本山 弥君
白坂 久君・上野 三郎君
渡部 利夫君
奥様誕生 三井 糸様・三井 順子様
本山 京子様・染野 恵美子様
忠 鉢 泰子様

出席委員会

8月100%出席 52名
秋野・阿蘇・阿部(与)・張・藤川・布施・飯白・石川・石黒・板垣(俊)・市川・飯野・川村・黒谷・小松(広)・今村・小松(三)・加藤・塚原・三井(賢)・三井(健)・嶺岸・迎田・松田(貞)・松田(士)・中江・中野・中田・斎藤(隆)・佐藤(忠)・

佐藤(順)・佐藤(衛)・佐藤(友)・佐藤(元)・新穂・菅原・鈴木(善)・鈴木(弥)・佐藤(英)・鈴木(茂)・佐々木・斎藤(昭)・高橋(良)・丹下・手塚(林)・富樫・上野・内山・渡部・若生・山口・吉野

スマイル

佐藤 友吉君 9/5 藤島町役場庁舎工事竣工を祝して。
白坂 久君 本社の監査が無事終了して。

ビジター

鶴岡西R.C. 加藤重郎左衛門君
佐藤 拓君・桜井 晋君

連絡

永平寺参拝の旅(会費50,000円位)
10/16(火)～18(木) 申込みは白坂久まで。

青少年奉仕委員会

教育 110 番について

8月31日、鶴岡市物産館の3階例会場で青少年奉仕委員会によるすばらしい取組みの第1回の会合がもたれた。これは青少年の健全育成の1つとして、一般の方々の御相談を月1回お電話をおうけし答えられるようにしてゆこうという主旨からこの企画をしてみた。大変にむずかしいことだ、どんなことになるかわからない。どこまで答えられるだろうか、ロータリーが重荷になるのではなかろうか、すばらしいことなので協力しながらやってゆこう…などいろいろなことがお集りのカウンセラーの方々からありました。そしてとにかく9月20日、23-9110番でおうけしてみようということになったようです。はじめてのころみなで全員の方々が不安というお顔の中にも、やりがいのあることなのだというお考えの中にP.M.7:10~8:20まで行われその後懇親会に移り、今後の問題点を話し合われた。運営委員、事務局、ロータリアンカウンセラー、招聘カウンセラーの方々の御氏名を次号に掲示させていただきます。

ロータリーは実践・実行力をもってすすむべきだということからいえば、大変なことだけれど、すばらしいことだということをお思いロータリアンの方々は勿論、御関係の方々の積極的な御協力をいただきたいものだと思います。



何ぞも放談



1984.9.5(水)

P.M. 2:30 ~ 3:00

於、三井病院にて
戦争と平和

阿蘇：お忙しいところすみません。先生はよく海外旅行をされますが日本と比べてどうですか。

三井さん：日本はね、生活面

もいろいろ便利なことが多いし豊かに見えますがね、実際は欧米諸国の文化、社会施設とを比べますとまだまだですね。又、公共心もはるかに先方が高いですね。

阿蘇：私も海外には行ったことがありますが、むしろ日本よりひくいところに行ったのであ



まり感じませんでした。例えばどんなところですか。

三井さん：スイスに行ったときですがね。盗難に合いましたね。パスポートが入っていましたので届きますとね、絶対に盗むものはこの国にはいない、といいはるんですよ。公園のベンチにカメラを置いておいても盗むものはいないのに。というんですね。捜してはくれましてね、ありましたがね。最近はこのスイスでもいろいろの人が出入していますからね。阿蘇：お話しをかえますが、先生はいつ頃からここで病院を。



三井さん：私はね、九州医専、今の久留米大学を出ましてね、昭和18年に召集をうけたんですよ。そしてね軍医としてニューギニアに

行きましてね。ここで戦争の悲惨さをいやというほど味合ってきましたよ。

阿蘇：敗戦が少しずつ出て来た頃とお伺いしますが。

三井さん：そうなんです。300名の兵隊を(やっと歩ける傷だらけの)預けられましたね。富士山ほどの山を越えて徹退したときはね、目の前でバタバタ死んで行く兵士を見てね、火葬をすれば火が敵に見えますしね。あの時のつらさやみじめさを今思うとね…。それに私自身もマラリヤにかかりましてね。死ぬと思いましたよ。

阿蘇：いろいろなことを体験されたのですね。先生の知られざることです。

三井さん：そうかも知れませんね。私もね、茶道の会、ニューブラウンズ友好会やユネスコの会長をやっていますがね、平和ということは大事にしなければなりません。人間1人1人が心の中に平和の心をしっかりもつこと。人間の平和と幸福の願いは世界の願いということですからね。ロータリーも考えているだけでなく実践・実行を多くもつことだと思いますね。人間の平和と幸福の為にね。

阿蘇：すばらしい人間の心が、戦争と平和ということに分ければ絶対平和でなければなりませんね。いろいろ大変有難うございました。

